



## 防災訓練を行いました

6月18日、諸広域行政事務組合消防本部立会いのもと、当院2階厨房を火元と想定した防災訓練を行いました。非難経路の確認・誘導、伝達訓練と併せて、消化器の使い方や初期消火の注意点を学びました。



## 消化器の使い方

①ピンを引き抜く

②ホースを外す



③火元に近づき（3～5M）、ホース・ノズルを火元に向ける。

④レバーを強くにぎり、燃えているものに直接噴射する。



消火の際は、必ず退路を確保します。

初期消火が可能なのは出火から1～2分程度です。

天井まで燃え広がったら、速やかに避難し消防車の到着を待ちましょう。

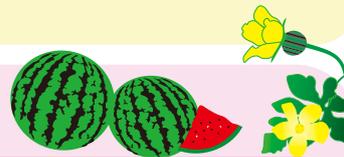
## ELNEC-J 「症状マネジメント」

5月からスタートしたELNEC-Jの講義内容を、毎月紹介していきます。

7月12日のモジュール3では、エンド・オブ・ライフによく起こる症状と、それらの症状マネジメントを行う際の看護師の役割について学びました。

症状は、患者さんの心身の不調を知らせる重要なサインです。症状の原因を確認するだけでなく、患者さんやご家族の症状に対する思いや日常生活への影響を理解することが大切です。

症状に対する治療と同時にケアを効果的に取り込むことで、患者さんが身体面・精神面ともに「楽になった」と感じるマネジメントを目指します。



### ELNEC-Jとは

「米国のアメリカ看護大学協会と City National medical Center が共同して設立した教育プログラムの日本語版です。エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための系統的なプログラムとなっています。

### エンド・オブ・ライフによく起こる症状

#### 身体面

- ・食欲不振
- ・嘔気、嘔吐
- ・便秘
- ・全身倦怠感
- ・呼吸困難
- ・浮腫

#### 精神面

- ・不安
- ・抑うつ
- ・せん妄

### 症状の患者への影響

- ・精神的な苦痛 (不安・恐怖・自尊心)
- ・身体的な苦痛
- ・日常生活の変化やQOLの低下

### 原因の確認

- ・病状
- ・身体的変化
- ・治療や薬剤
- ・心因性
- ・環境や習慣の変化

### アセスメント

- ・症状の程度や頻度
- ・発生の原因、誘因
- ・検査データや病状の把握
- ・日常生活への影響
- ・患者さんや家族の気持ち etc.

※アセスメントとは…  
患者さんから得た情報をもとに、看護上の問題点を理論的に分析すること。

### 治療

※それぞれの症状にあわせた治療を行います。

### ケア

- ・誘発因子の除去
  - ・環境調整
  - ・精神面のケア
  - ・日常生活の援助や工夫
- ※それぞれの症状にあわせたケアを行います。



## 受講生からひとこと



看護師 増田 純子

終末期患者さんの苦痛緩和の看護を深めたいと思い、研修に参加しました。患者さんの全人的苦痛を学び、エンドオブライフケアの重要性を実感しています。

研修では、他施設の看護師、訪問看護師とのグループワークの中で、終末期患者さんの在宅療養の実際を知る機会が得られました。今後、学んだエンドオブライフケアを看護実践に役立てたいと思います。

